

【参考資料】

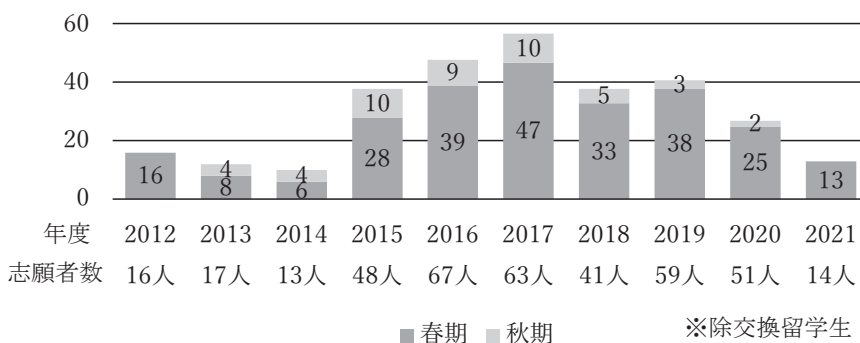
別科の現状と取り組み

1. 別科の現状

1988年に国際文化・教育センター（現：国際教育センター）に日本文化専修課程が設置され、その後、1990年4月に日本語専修課程が加わり現在の別科が開設された。当初は志願者も多く200名を越すこともあり、学生も定員70名を確保していた。しかし、2006年度に171名いた志願者が2007年度には64名に減っており、以降は定員に達することはなくなってしまった。

別科を取り巻く状況はどの大学でも非常に厳しく、多くの大学が定員割れとなっている。

2. 過去10年間の入学者数の推移



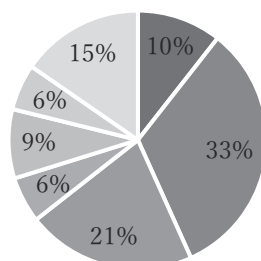
過去10年間をみても志願者数が定員を下回っている。特に2021年度はコロナによる特別対応として、本来、日本語学校での留学ビザは2年までのところ、1年間延長することができる。その影響もあり、受験生が大幅に減ったと思われる。また、2022年度の入試についても、日本語学校の生徒が入国できず激減しているとの影響で厳しいものになると予想される。

3. 国別在籍者数

	中国	ベトナム	シンガポール	スリランカ	韓国	ミャンマー	その他
2017	26	21	0	0	0	3	7
2018	21	15	0	1	0	0	1
2019	32	8	0	0	0	0	1
2020	13	10	2	0	1	0	1
2021	9	3	0	0	1	0	0

4. 別科生の進路

別科生のほとんどが卒業後、大学院、大学、短大に進学する。就職する学生は、外資系の企業が多い。城西大学および城西国際大学に進学している学生は、過去3年間で約40%となっている。別科は1年間なので、入学時に進路を決めている学生が多い。文系学部に進学する学生が大半を占めるが、ここ数年は美大や音大へ進学する学生もいる。



■ 大学院 ■ 大学 ■ 短大 ■ 専門学校 ■ 就職 ■ 帰国 ■ その他

過去3年間の進路

進路実績：

【大学院】城西大学大学院・徳島大学大学院・早稲田大学大学院・東海大学大学院
東洋大学大学院・芝浦工業大学大学院・北陸先端科学技術大学院大学
東邦音楽大学大学院・国際医療福祉大学大学院・東京学芸大学大学院

【大学】城西大学・多摩美術大学・武蔵野美術大学・立教大学・法政大学・立正大学
立命館大学・関西大学・拓殖大学・東京国際大学・高崎経済大学・日本大学

【短期大学】城西短期大学

【就職】インフォメーションデベロップメント・日本サード・パーティ（株）

5. 2021年度の取り組みと今後の課題

(1) 募集活動について

中国の国際交流課のある大学を調べ、中国語の募集要項及びパンフレットをメールで送り、別科についての案内をした。また、留学生の母校（中国、韓国、ベトナム等）に対し、学生を通訳としてオンラインでの説明会を検討中である。

(2) 日本語能力試験（JLPT）対策講座の実施

学部、大学院、短大の留学生及び研究生を対象とし、N1、N2を取得するための特別講座を実施し、前期（N3含む）18名が受講し5名が合格した。後期は23名（N1：16／N2：7）の留学生が受講している。必修授業と重なって受講できないとの声もあり、各学部の時間割と調整し日程を決める必要がある。

(3) 大学院生へのサポート体制について

経済学研究科及び経営学研究科の留学生へのサポートを実施。具体的な方法については、各研究科と打ち合わせをし、学生アンケートを実施の上、予約制の個別対応で行っている。

(4) 卒業生とのネットワーク構築について

卒業生とのネットワーク構築のための第一歩として「別科便り」を発行し、メールで配信した。また、ゼミで別科生とOBとのZOOMセッションを実施した。今後もオンライン・ピア・ラーニングや希望進路に沿った先輩紹介などを計画している。

卒業生には、学部・大学院卒業後に日本で就職している、日本で会社を設立している、母国で日本語学校の教員をしているなど様々な学生がいる。しかしながら、ここ数年の別科卒業時の進路一覧はあるが、その後の情報がほとんどない。まずは連絡の取れる卒業生から、卒業生の状況を把握していきたい。

(5) 秋季卒業生の進路について

日本の大学はほとんどが春入学のため、秋入学学生の大半が半年で退学してしまう。秋季卒業生の進路指導の強化は、国外受験者を増やすためにも早急に解決しなければならない課題であるが、進学希望先の大学等に秋入学がない場合が多く、早期解決は難しい。

(6) 学内進学率について

これまで、別科として学部や大学院との連携が希薄であった。これが学内進学率にも影響を及ぼしていると考えられる。過去3年間の学内進学率は約40%（JIU含む）である。本学に希望する学部がある学生に対し、ゼミ同士や大学院生、学内進学をした別科卒業生との交流の機会を増やし、具体的に進学後の自分をイメージさせるなど、学内進学率を上げるための対策を強化する。

(7) 入学前指導の実施

別科在学中に N2、N1 合格を目指すには、入学前からの指導が必要である。なかなか実施できなかったが今年度より開始した。

以 上